



常陸太田市

議会だより

Hitachiota City Council

No.173

令和5年8月

常陸太田市議会



主な内容

- 議案賛否一覧 P2～3
- 議案質疑 P4
- 一般質問 P5～8
- 常任委員会審査 P9～10
- 陳情・請願審査結果・議会報告・意見交換会 .. P11
- 議会運営委員会 P12

●発行：常陸太田市議会 ●編集：広報委員会

第3回定例会



宮田 達夫 市長

■提案理由説明 (要旨)

第3回定例会(6月1日から15日)の提出議案は、専決処分の報告9件、令和4年度繰越明許費等の繰越計算書の報告6件、条例の一部改正3件、物品購入契約2件、和解及び損害賠償額の決定1件、令和5年度補正予算1件、合わせて22件でございます。

補正予算につきましては、物価高騰の影響を受けている子育て世帯や事業者等に対する

支援、及び山吹運動公園野球場の防球ネット改修に係る費用等を計上しております。

なお、議会最終日に、条例の廃止1件を追加提案する予定でございます。里美白幡台団地の汚水処理施設を廃止し、農業集落排水に統合するための管路整備工事が完了することに伴いまして、市域下水道の設置及び管理に関する条例を廃止するものでございます。

第3回定例会 議案賛否一覽

△全会一致で可決・承認した議案▽

報告番号	議案名	付託委員会	議決結果
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市市税条例の一部を改正する条例)	本会議	原案承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市都市計画税条例の一部を改正する条例)	本会議	原案承認
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	本会議	原案承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(常陸太田市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	本会議	原案承認
報告第6号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	本会議	報告
報告第7号	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	本会議	報告
報告第8号	専決処分の報告について(和解について)	本会議	報告
報告第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第1号))	本会議	原案承認
報告第10号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第2号))	本会議	原案承認

△賛否の分かれた議案▽

議案第 44 号	常陸太田市地域下水道の設置及び管理に関する条例の廃止について	議会	原案可決
議案第 43 号	令和 5 年度常陸太田市一般会計補正予算(第 3 号)について	総務	原案可決
議案第 42 号	和解及び損害賠償額の決定について(追認)	総務	原案可決
議案第 41 号	消防団消防ポンプ自動車購入の契約について	総務	原案可決
議案第 40 号	排水ポンプ車購入の契約について	総務	原案可決
議案第 39 号	常陸太田市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生	原案可決
議案第 38 号	常陸太田市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	文教民生	原案可決
議案第 37 号	常陸太田市職員定数条例の一部改正について	総務	原案可決
報告第 16 号	令和 4 年度常陸太田市下水道事業等会計予算繰越計算書について	議会	報告
報告第 15 号	令和 4 年度常陸太田市簡易水道事業会計予算繰越計算書について	議会	報告
報告第 14 号	令和 4 年度常陸太田市水道事業会計予算繰越計算書について	議会	報告
報告第 13 号	令和 4 年度常陸太田市一般会計予算事故繰越し繰越計算書について	議会	報告
報告第 12 号	令和 4 年度常陸太田市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	議会	報告
報告第 11 号	令和 4 年度常陸太田市一般会計予算繰越費繰越計算書について	議会	報告

請願第 2 号	インボイス制度実施延期を求める意見書採択に関する請願	産業建設	付託委員会	審査結果	宇野 隆子	議決結果
		不採択			○	
×	高木 将					
×	後藤 守					
×	茅根 猛					
×	成井小太郎					
×	高星 勝幸					
×	深谷 秀峰					
×	益子 慎哉					
×	平山 晶邦					
×	深谷 涉					
×	菊池 勝美					
×	小室 信隆					
×	森山 一政					
×	鴨志田 悟					
×	根本 仁					
×	石川 剛					
不採択						

【○：賛成 ×：反対 欠：欠席】
 ※議長の表決権：過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができる裁決権が認められています。

議案質疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけでは分からないことを質問する行為のことです。

議案第37号 常陸太田市職員定数条例の一部改正について

(消防機能の維持に必要な人員体制を時限的に確保するため、本条例の一部改正を行うもの)

問1 令和6年4月1日から令和17年3月31日までの間、消防機関の職員の定数を98人とする背景や、時限的な措置とした理由について伺いたい。

答1 消防審議会の答申に沿い、人口推移や救急出動件数の推移、現役消防職員の大量退職問題なども考慮し、時限的に定数を10人増加するものである。なお、時限的な措置とした理由については、高齢者を含め、搬送件数の減少が予測されているほか、消防機能の維持に必要な定員管理も完了できると見込んでいるためである。

議案第43号 令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第3号)について

(一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億7,025万7千円を追加し、総額を263億5,280万6千円とするもの)

問1 プレミアム付商品券の発行口数を4万口から4万8,000口に増加した理由、及び発行方法について伺いたい。

答1 物価高騰への生活者・商業者支援として、令和4年度の実績を考慮し、購入者は2,000人増加、1人当たり4口購入するものと想定したことによるものである。発行方法は紙の商品券からデジタル通貨に変更し、スマートフォンを利用するアプリ型と、スマートフォンが苦手な方や持っていない方向けにカード型の2種類を予定している。

問2 山吹運動公園野球場防球ネット整備工事の工事内容について伺いたい。

答2 硬球が地上14mの高さの防球ネットを超えてテニスコートまで飛んだ事例があることから、事故防止のため支柱の高さを最も高い所で約34m、横幅を延長約210mとするものである。

議会について教えて

シリーズ④



一般質問とは？

第3回定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。そこで、今回は一般質問について解説します。

一般質問は、市政一般について、市長や部長等に疑問点を質問し、答弁を求めるものです。議員は、質問の具体的な要旨を議長へあらかじめ通告します。質問の順番は通告の受付順で、議員は議長の許可を得てから通告の範囲内で発言します。初めに、通告した全ての項目を質問し、再質問から一問一答方式で質問します。議員1人の持ち時間は質問・答弁の時間を併せて60分です。

なお、一般質問は議会の監査機能や政策提案機能を発揮する場として活用されています。争点を提起することにより、結果として市が行う政策の改善・見直しや、新規の政策を採用させるなどの目的・効果があります。

誉田小児童が議場を見学しました

6月27日、誉田小学校3年生の児童の皆さんが授業の一環で市役所を訪れ、本庁舎4階にある議場を見学しました。

議場見学では、議長席や議員席などに着席し、市議会の実際の雰囲気を感じながら、市議会の役割や仕組みなどについて学びました。





石川 剛
議員

問1

令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者については個別避難計画を作成することが市町村の努力義務となったが、本市において避難行動要支援者名簿の更新状況及び個別避難計画の作成状況について伺いたい。

答1

保健福祉部長 本市では災害発生時に避難行動要支援者の避難支援等を実施を行うため

問2

問1 避難行動要支援者「個別避難計画」の作成状況は
問2 NTT固定電話回線以外の緊急通報装置の手法を

の基礎資料となる避難行動要支援者名簿の更新に向けて、昨年7月から市職員が対象者宅への個別訪問調査を行った。また今年3月には、旧制度の災害時要支援者避難支援制度に名簿登録された方で、平成24年度以降、個別避難計画の更新がされていない方に対し登録継続の確認を行った。これらの取り組みにより、全ての町会の避難行動要支援者名簿の更新及び名簿登録者全員の個別避難計画の作成が完了した。

問2

本市において要介護（支援）を受けている方も非該当の方も利用できる高齢者福祉サービスである緊急通報体制等整備事業の有効性と現状の課題等について伺いたい。

答2

保健福祉部長 本装置は通報ボタンを押すだけで市消防本部と通話でき、利用者は簡単に救急要請することができる。市消防本部は、事前登録された利用

者の持病やかかりつけの医療機関、親族、地域の協力者等の連絡先等が把握できるので、迅速な救急搬送を行うことが可能である。課題として、装置の動作保証の関係上、NTTの固定電話をお持ちでない方はご利用できないことが挙げられる。潜在的なニーズもあると考えられるため、代替手段について調査・研究していく。



鴨志田 悟
議員

問1

道路交通法の改正に伴い、今年4月1日から自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。ヘルメット着用は命に関わる問題である。また、急激な物価高の中、市民も困難な生活に直面していることも事実である。そこで、本市独自の自転車用ヘルメット購入の補助事業の創設について伺いたい。

問2

問1 自転車用ヘルメット購入の市独自の補助を
問2 健康づくりの現状とフレイル予防の対策は

答1

市民生活部長 自転車用ヘルメット購入の補助事業については、国の新たな支援策等の情報をはじめ、近隣市町村の動向も注視しつつ検討していく。

問2

人口の急速な高齢化が進み、生活習慣病及びこれに起因して寝たきり等の要介護状態になる方の増加が、今日、深刻な社会問題となっている。そのため本市においても令和2年度より5

答2

年間を期間に「常陸太田市第2次健康増進計画」を策定し、健康寿命の延伸と医療費削減を指しているところである。そこで、本市の健康づくりの現状とフレイル予防の取り組みについて伺いたい。

答2

保健福祉部長 当市の健康課題の重点目標にワースト3疾患による死亡率の減少を掲げている。昨年実施した中間評価では、心疾患、脳血管疾患による死

【鴨志田 悟 議員 質問事項】

- 自転車用ヘルメット購入の補助について
- 健康づくり推進について
- 新型コロナウイルス感染症5類移行後の小中学校教育の推進について



【石川 剛 議員 質問事項】

- 災害に強いまちづくりについて
- 交通対策の整理と利便性向上について
- 安心な在宅生活について





森山 一政
議員

問1 歩道などを安心して歩けるバリアフリー化について伺いたい。

答1 建設部長 歩道など安心して歩けるバリアフリー化については、交通バリアフリー法が施行され道路構造令改正の適用が始まる前の平成16年度以前に整備された道路の歩道の中には、マウントアップ型で車道との高低差が約25cmあるものが多く、

問1 高齢化社会の道路整備、まちづくりについて
問2 人口減少対策に係る住宅取得促進助成金制度について

出入口や交差点付近等で段差ができやすい構造となっている。平成17年度以降に整備が行われている道路については、車道と歩道の高低差を5cmと小さくした構造基準となつているため、段差があまりない構造となっている。当市においても、平成17年度以降に新設した道路や大規模改修を行った道路は、段差の少ないバリアフリーの基準に合った構造で道路整備を行っている。公共施設や商業施設

問2 高齢者施設、学校など、多くの歩行者の利用が想定される歩道を中心に、利用状況を踏まえ、安全で安心な歩道環境の確保に努めていく。

答2 企画部長 本助成金は、子育て世帯等又は子育て世帯と同居するために住宅を取得された方に、最大50万円を支給するという、支給対象者に着目した制度である。一方、里美白幡台団地転入促進助成金は、市が所有する土地の有効活用を図る事を目的として分譲地に新築された方に100万円を支給するものである。現時点で事業内容の見直しを行う予定はない。



菊池 勝美
議員

問1 日本人成人の90%以上は帯状疱疹のウイルスが体内に潜んでいる。50歳代から発症率が高く、80歳までに約3人に1人が発症する。ワクチン接種で発症予防や発症しても症状を軽くする効果が期待できる。県内で昨年は助成ゼロだが、今年は4市町村で助成を始めた。本市の取り組みを伺いたい。

答1 保健福祉部長 現在市内1医療機関で月平均2〜3人

問1 带状疱疹ワクチン接種費用の助成を
問2 放置竹林への対応と竹粉碎機導入・貸し出しを

が発症し受診している。予防接種後の副反応等が社会問題になるので、国の定期接種化への動向を注視し、助成を開始した自治体の状況や近隣自治体の状況を調査研究する。

問2 竹の利活用では、純国産の前で35府県が参加し、当市道の駅では、金砂郷の企業がメンマを製造販売している。粉碎した竹の乳酸菌は牛糞や落ち葉等

の堆肥に良く、また、竹の抽出液はインフルエンザウイルスに対し、消毒用エタノールと同じ効果がある。厄介者の「竹の山」が「宝の山」にもなり得る。放置竹林に対する市の対応や、竹粉碎機の導入・市民への貸し出しについて伺いたい。

答2 農政部長 国内の竹林は高齢化、竹材の利用減少、輸入材の増加等で有効活用されず、伐採等の管理も行き届かず

竹害が社会問題である。高齢化が進む本市でも竹害への対応は必要と考える。放置竹林の整備への森林環境譲与税の活用を含め、実施可能性について検討していく。竹粉碎機の導入・市民への貸し出しを近隣市町村で実施しているのは承知している。森林の管理を含めて、主体的に活動する団体等の要望を把握する等、調査研究していく。

【菊池 勝美 議員 質問事項】

- 带状疱疹について
- 山林や耕作放棄地等における竹林対策について



【森山 一政 議員 質問事項】

- 高齢社会の道路整備、まちづくりについて
- 人口減少対策について
- 高齢者の栄養バランスのとれた食事の提供体制について





平山 晶邦
議員

問1

町会に対する行政協力員制度に係る業務

問1

本市は町会における行政協力員制度の中で多くの業務をお願いしている。町会は地域のコミュニティの核になって災害時や問題が起きた時など市と連携して対処する組織である。しかし、昨今の社会状況や環境の変化に伴い町会の在り方も変わってきている。市民の皆様も認識しているように高齢化が進み、空き家等が増え人口減少が進む中においては、町会活動への住民の意識も変わっ

てきている。このような中において本市は合併して以来約20年経つが、町会への行政協力員制度をお願いしている業務は20年来変わっていない。これでは、今後において行政協力員制度を受け皿とした業務ができなくなってくる町会も出てくるのではないかと危惧する。今後の行政協力員制度の在り方についてご所見を伺いたい。

答1

市民生活部長 住民福祉の増進や住民自治の推進にあり、行政協力員制度を設けて町会を重要なパートナーとして市政の様々な業務についてご協力いただき、連携を図りながら進めてきている。来年で合併後20年が経過し、この間の社会情勢や生活環境の大きな変化によりそれぞれの町会を取り巻く環境も刻々と変化している状況にあるものと認識している。そのためには、町会の現

状に対応した行政協力員制度業務を考えていく必要がある、町会ごとの詳細な課題等の把握が必要と認識している。町会の現状・課題等を的確に抽出するための方法・仕組みについて検討し集約精査し行政協力員制度に係る業務の効率化について研究していく。



深谷 秀峰
議員

問2

もっと人が集えるキャンプ場に みんなで守ろう地域のお宝文化財

問1

竜神ふるさと村、プラトリーさとみオートキャンプ場の現況と今後の整備方針を伺いたい。

などもあり、施設の在り方を検証していく必要があると考えている。プラトリーさとみオートキャンプ場は、令和3年度に4区画を整備し令和3年度が303人、令和4年度が318人の利用があったが、オートキャンプ場としては、立地条件から区画数や区画面積も少ないことから、今後は、プラトリーさとみ周辺の土地活用も含め全体像を調査研究していく考えである。

問2

文化財保護活動とエコマニージャム活動の連携について伺いたい。

踏んだ事業を行ってきた。子どもから高齢者まで地域住民が主体となつて取り組むほか、指定文化財を含む様々な地域のお宝に触れることで、地域コミュニティの活性化や郷土愛の醸成等、地域力の向上が図られたものと考えている。現在までに、36の地域がこの活動に取り組んできたが、近年は新規に取り組む希望する地域が減少している状況にある。

答1

商工観光部長 竜神ふるさと村は、平成3年度には年間4万2000人を超える利用があったが、令和元年度は2500人、令和4年度は400人と激減している。整備から32年が経過し、バンガローやコテージなど施設の老朽化や、キャンプニーズの変化

答2

教育部長 エコマニージャム活動は、地域の自然・歴史・文化等の地域資源をお宝として探す「わがまち地元学事業」、お宝の案内板や解説板の整備を行う「地域資源整備事業」、地域コミュニティの活性化を目指す「地域交流事業」として、ステップを

【深谷 秀峰 議員 質問事項】

- 観光の振興について
- 文化財保護活動について
- 廃校等公共施設の有効活用について



【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 町会に対する行政協力員制度に係る業務について
- 読書教育と図書館運営について





深谷 渉
議員

問1 今年度、導入予定のデジタル地域通貨を利用してもらうためには、他のサービスにはない付加価値やメリットの提示・差別化が必要と考えるが、市民に利用してもらうための計画について伺いたい。

問2 デジタル地域通貨を利用してもらうための計画は不登校になっても学びの保障を社会全体で実現を

の増加、説明会の開催等による加盟店の確保を図っている。今後は、利用者に対するインセンティブとして、市の独自ポイント発行を検討するなど、デジタル地域通貨の利用に魅力を感じ、継続的に活用されるよう、推進していく。

誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していく「CO-COLOプラン」が文科省から発表された。本市でも積極的な取り組みが必要と考えるが、具体的な対策を伺いたい。

セラーをコーディネーターとして派遣している。校内教育支援センターを設置し、学校の授業をオンライン指導できる指導体制の確立については、現在、代わるものとしての学習支援等を活用した別室での学習支援に取り組んでいる。また、自宅や校内教育支援センター等での児童生徒の「学び」の結果を成績に反映させることについては、できることから取り掛かれるよう支援していく。

答1 企画部長 利用促進を図るため、高齢者へのスマートフォン購入に対する助成等によるスマートフォンの所有率・活用率

問2 全国で、不登校の児童生徒数は2016年度から5年間で1・8倍の約24万5000人となり、危惧されている。そこで、

答2 教育長 不登校の悩みを持つ保護者を対象とした「保護者の会」に代わるものとして、個別の支援を充実させ、かわせみくらぶ専属のスクールカウンセ

への影響に対する認識と、このよくな時こそ財政調整基金を活用して水道・電気料金への助成で市民の家計応援をする必要がある。財政調整基金の活用を求めたい。



宇野 隆子
議員

問1 1月28日、原子力災害広域避難訓練が実施され、私は独自に参加して経験したが、参加者からも冬季の避難は事故や渋滞で困難といった声が寄せられた。訓練参加住民アンケート結果の受け止めについて伺いたい。原発30km圏内に約92万人が住んでいること、気象条件や複合災害を考えると広域避難は不可能である。避難できたとしても住み慣れた場所に戻れない。仕事や財産が失われる

問2 原発は再稼働しないことが福島原発事故の教訓
物価高騰から市民の暮らしを守る支援策を

ことは福島原発事故の教訓である。岸田政権の「原発回帰」原発推進は被害者の思い、痛苦の教訓を踏みにじるものである。いのち・暮らし・財産を守るためには再稼働しないことが最も安全な道である。市長の考えを伺いたい。

協定に基づくプロセスを踏まえ、日本原電の地域住民への丁寧な説明並びに市議会や市民の意見を聴くなど、総合的に判断していく。

答2 総務部長 物価高騰の市民への影響の下、市民・事業者への支援を行うため、本定例会に補正予算案を提出している。財源は、国の交付金を活用し、財政調整基金の活用は考えていない。

答1 市長 市民アンケートは季節や気象条件を踏まえた率直な意見として真摯に受け止めている。再稼働については、新安全

の増加、説明会の開催等による加盟店の確保を図っている。今後は、利用者に対するインセンティブとして、市の独自ポイント発行を検討するなど、デジタル地域通貨の利用に魅力を感じ、継続的に活用されるよう、推進していく。

誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していく「CO-COLOプラン」が文科省から発表された。本市でも積極的な取り組みが必要と考えるが、具体的な対策を伺いたい。

セラーをコーディネーターとして派遣している。校内教育支援センターを設置し、学校の授業をオンライン指導できる指導体制の確立については、現在、代わるものとしての学習支援等を活用した別室での学習支援に取り組んでいる。また、自宅や校内教育支援センター等での児童生徒の「学び」の結果を成績に反映させることについては、できることから取り掛かれるよう支援していく。

への影響に対する認識と、このよくな時こそ財政調整基金を活用して水道・電気料金への助成で市民の家計応援をする必要がある。財政調整基金の活用を求めたい。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 東海第二原発の再稼働問題について
- 公用車の交通事故等防止策と道路の安全対策について
- ジェンダー平等の推進について
- 物価高騰から市民の暮らしを守る支援について
- 子宮がん・乳がん検診費用の助成について



【深谷 渉 議員 質問事項】

- デジタル地域通貨について
- 不登校支援の取り組みについて
- 使用済み家電のリサイクルについて
- 認知症でも安心して暮らせる街について



総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正1件、物品購入契約2件、和解及び損害賠償額の決定1件、補正予算1件、合計5件の審査を行い、付託された5議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第41号 消防団消防ポンプ自動車購入の契約について
 (有限会社鈴機と2134万円で契約するもの)

問 落札した有限会社鈴機の概要について伺いたい。

答 消防・防災用品の全般を取り扱う業者であり、当市では消防団の小型ポンプ積載車、消防用機材の納入実績を有している。また、株式会社モリタの代理店となっている。

議案第43号 令和5年度常陸太田市一般会計補正予算(第3号)

(一般会計歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ7億7025万7千円を追加し、総額を2億6352万8千円とするもの)

問 山吹運動公園野球場の防球ネットについて、設置後の保守点検はどのように考えているのか。

答 耐用年数等を勘案し、点検方法等、今後検討していきたい。

問 プレミアム付商品券のデジタル化による店舗側の利点について伺いたい。

答 売り上げは店舗側が指定する金融機関の口座へ自動振込となり、商工会に商品券を持参して換金していた手間が解消される。また、取引履歴や売上の確認などがオンラインでできるため、事務負担の軽減と効率化が図られるものである。



【委員会構成】

- | | |
|-----------|----------|
| 委員長 菊池 勝美 | 委員 平山 晶邦 |
| 副委員長 茅根 猛 | 委員 深谷 渉 |
| 委員 後藤 守 | 委員 鴨志田 悟 |

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正2件の審査を行い、付託された2議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第38号 常陸太田市個人番号の利用に関する条例の一部改正について

(行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第9条第2項の規定による個人番号の利用に関し、新たに外国人の被保護者のオンライン資格確認を行うため、本条例の一部改正を行うもの)

問 今回の改正は、個人番号の利用に関し、生活保護を受けている外国人を新たにオンラインで資格確認できるようにするためであるが、対象となる外国人の数について伺いたい。

答 対象となる外国人については、現在1人である。

議案第39号 常陸太田市地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

(常陸太田市山田地域交流センターの建設に伴い位置を変更するため、本条例の一部改正を行うもの)

問 位置変更後の駐車場の対応について伺いたい。

答 施設北側に松平運動公園があり、イベントを行う際にはそちらの一部を借用して駐車場として使用する予定である。



常陸太田市山田地域交流センター

【委員会構成】

- | | |
|------------|----------|
| 委員長 小室 信隆 | 委員 高木 将 |
| 副委員長 益子 慎哉 | 委員 藤田 謙二 |
| 委員 宇野 隆子 | 委員 根本 仁 |

産業建設委員会

産業建設委員会では、請願1件の審査を行い、全会一致により不採択すべきものと決定した。

▼主な意見

請願第2号 インボイス制度実施延期を求める意見書採択に関する請願

(中小事業者等がコロナ禍や物価高から事業の維持・再建を図ろうとしているなか、インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に提出するよう要望するもの)

意見 インボイス制度の実施が各事業所に大きな影響を与えることは理解しているが、免税事業者等からの仕入れについて、制度実施後6年間は仕入れ税額相当額の一定割合を控除する経過措置が設けられている。インボイス制度は、消費税の正確な処理を目的とし、税の透明性という観点からも必要なものであると考えられるため、本請願には賛同できない。



【委員会構成】

- 委員長 森山 一政
- 副委員長 高星 勝幸
- 委員 深谷 秀峰
- 委員 石川 剛
- 委員 成井小太郎

高校生が市議会を傍聴しました

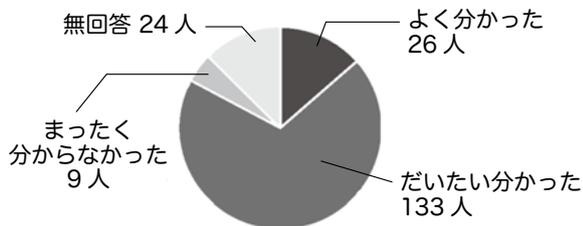


6月5日・6日の第3回定例会本会議（一般質問）の様子を、太田西山高等学校の生徒会役員と太田第一高等学校の1年生（合計192人）が傍聴しました。傍聴後のアンケートでは、「初めてだったので、とても良い経験になりました」「議会がどのように進んでいくのかよく分かった」「真剣に話し合っているのが伝わってきた」などの意見が寄せられました。

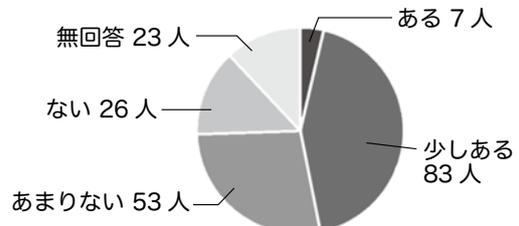
アンケート集計結果

高校生の議会傍聴後に実施したアンケート結果の一部をご紹介します。

●議員の発言内容はよく分かりましたか？



●議会や議員の活動に関心や興味は？



太田一高で対話集会を実施しました

7月13日、太田第一高等学校において、「住みやすく、若者が集まる街づくり」について、議員との対話集会を実施しました。参加した生徒の皆さんからは「今回話し合いをして、私たちも常陸太田市のために協力できたという気持ちになった」「議会や選挙について、これまでより関心が深まった」「また実施してほしい」などの声が聞かれました。



行政視察にお越しいただきました



月日	議会名	主な視察項目
5月15日(月)	茨城県小美玉市議会	議員定数削減の経緯について

令和5年第3回定例会 陳情・請願審査結果

件名	提出者	結果
【陳情第1号】 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書	インボイス制度を考えるフリーランスの会 代表者 阿部 伸	報告
【請願第2号】 インボイス制度実施延期を求める意見書採択に関する請願	日立民主商工会 代表者 鷹嶋 信一 【紹介議員】 宇野 隆子	不採択

議 会 日 誌

4月6日	広報委員会・議会改革推進会議	6月1日	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会
13日	議会改革推進会議	5日	本会議（一般質問）
20日	議会改革推進会議	6日	本会議（一般質問）
21日	議会運営委員会・全員協議会・議員研修会・議会改革推進会議・広報委員会	7日	本会議（議案質疑）・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
5月10日	議会改革推進会議・総務委員会協議会	8日	総務委員会
15日	茨城県小美玉市議会行政視察	9日	文教民生委員会
19日	議会運営委員会・全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会・広報委員会・県北市議会議長会定例会	12日	産業建設委員会・議会運営委員会・全員協議会・災害対策委員会役員会
		14日	全国市議会議長会第99回定期総会
22日	県市議会議長会定例会	15日	本会議（採決・閉会）・産業建設委員会所管事務調査
25日	関東市議会議長会第89回定期総会	29日	議会報告・意見交換会（里美地区）
30日	市町村長・市町村議会議長会議	30日	議会報告・意見交換会（常陸太田地区）

議会報告・意見交換会を開催しました

市議会では、6月29日・30日、7月4日・5日の4日間、市内4地区で市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催し、延べ116人のご参加をいただきました。

今年度は「地域農業について」をテーマに2班に分かれて意見交換を行い、それぞれの会場で多くのご意見をいただきました。各会場からいただきました主なご意見につきましては次の通りです。

なお、詳しい内容につきましては、後ほど市議会ホームページに掲載いたします。



農業は大変なこともあるが、景観を保つなどの役割がある。若い人が農業をやってみたいと思えるよう、まずは農業を体験してもらうことが大切だと思う… など



全国的に見ると、耕作放棄地で契約栽培などを行って売上を伸ばしている事例があるので、何か部会を作って、米に代わるものを考えてみてはどうか… など



現在の農業の収益ではやっていけないのではないかと。農業体系・賃金体系を変えなければ現在の仕組みでは無理ではないかと… など



南部の平野とは異なる。里美ならではの農村政策・産業政策が必要… など

参加された皆様、貴重なご意見ありがとうございました。



議会を傍聴しませんか

9月定例会会期日程（予定）

- 9月 1日（金）午前10時 開会・議案説明
- 5日（火）午前10時 一般質問
- 6日（水）午前10時 一般質問
- 7日（木）午前10時 議案質疑
- 8日（金）午前10時 総務委員会
- 11日（月）午前10時 文教民生委員会
- 12日（火）午前10時 産業建設委員会
- 14日（木）午前10時 決算特別委員会
- 15日（金）午前10時 決算特別委員会
- 21日（木）午前10時 委員長報告・採決・閉会

本会議を傍聴される方は、市役所4階議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください（委員会の傍聴は許可制です。）。また、常陸太田市議会では、本会議映像をインターネットで配信しています。

常陸太田市議会

検索



全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会から表彰状

全国市議会議長会定期総会並びに茨城県市議会議長会定例会において、茅根猛議員、高星勝幸議員、深谷秀峰議員に、議員在職20年以上として、多年の地方自治進展と市政向上に貢献されたことにより表彰状が贈られました。



茅根 猛 議員



高星 勝幸 議員



深谷 秀峰 議員

全国市議会議長会から感謝状

全国市議会議長会定期総会において、地方財政委員として全国市議会議長会の会務運営に貢献されたことにより感謝状が贈られました。



藤田 謙二 議長

議会運営委員会

4月21日に、第3回定例会の会期等について審議を行った。5月19日には、第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について、6月1日には一般質問通告者について、6月12日には、最終日の日程、追加議案について、審議を行った。



委員	長	茅根	副委員長	高木	将
委	員	高星	委	員	勝美
”	”	小室	”	森山	一政
		信隆			

編集後記

6月から7月にかけて、市内4カ所で議会報告・意見交換会を開催し、多くの市民の方に参加していただきました。厚く御礼申し上げます。

今回のテーマ「地域農業について」の意見交換会では、様々なご意見を伺い、有意義な時間となりました。議会として、今後の協議・政策形成に役立てていきたいと思えます。

また、6月の第3回定例会では、市内の高校生が一般質問の傍聴に多数来ていただき、傍聴の感想などのアンケートにご協力いただきました。

さらに、広報委員会として市内の高校に向いて「対話集会」を開催いたしました。若者のダイレクトなご意見は、議員の刺激にもなりました。

さて、議会だより173号では、これらの内容と、第3回定例会の主な審議内容などを掲載いたしました。

これからも、広報委員一同、開かれた議会を目指し編集を心がけてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

広報委員会

委員長	深谷
副委員長	菊池
委員	茅根
”	小室
”	森山
”	根本
”	石川
”	剛仁
”	勝美
”	勝美
”	勝美

発行

常陸太田市議会 発行責任者 議長 藤田 謙二

〒313-1861 茨城県常陸太田市金井町3690

電話 0294(72)3111 (内線432) FAX 0294(73)1119